



学校だより
令和5年12月22日
(2023年) 第10号
城陽市立城陽中学校

www.kyoto-be.ne.jp/joyou-jhs/cms

-生徒会スローガン-
言葉でつながり合う日本一の中学校
～みんなで広げる心の輪～

2学期終了 次のステージへの助走 12月

暑い日差しのなかスタートした2学期も、いつの間にか厳しい寒さへと変わり、あっという間に終業式を迎えました。来学期は、いよいよ次のステージへの助走です。

2学期は、体育大会、合唱コンクールなど、クラスや学校全体が協力して作り上げる行事がたくさんありました。それらを通じて、どんなことを学び、何ができるようになりましたか？どのような成長をすることができたのか、しっかりと振り返っておきましょう。

「心のコップ」を上向きに

コップに水を注ぐとき、コップが上向きだと水が溜まります。コップが下向きだと水がこぼれ落ちていきます。当たり前のことですが。

心にもコップがあるそうです。注がれる水の種類は、様々です。賞賛、励まし、アドバイス、指摘、叱責など。プラスに感じられるものもあれば、時として、思春期のあなた達にとっては煩わしく思えるようなものも含まれます。

素直にコップを上向きにできることもあれば、下向きのままで注がれている水を無駄にすることもありますが、上向きでいられれば、様々な経験やそこから得られる反省、周囲からのアドバイスは、成長の糧となります。自分に起きた良いことも悪いことも吸収して、成長のチャンスをつかみ取ることができます。下向きだとどうなるかは、想像がつくと思います。周囲が注いでくれた水はこぼれ落ちていきます。

重要なのは、「心のコップ」は、心の中にあるのだから、下を向いているコップの向きを本当に変えられるのは、自分だけだということです。周囲ができるのは、そのきっかけづくりに過ぎません。何かあったときに、少し落ち着いて、自分の心をコントロールして、心のコップを上向きにすることができるようになれば、皆さんの人生や未来は、本当に大きく開けていくことでしょう。

先生自身は自分が高校生の時に、注がれた水をたくさん無駄にした経験があります。自分を大切にしてくれていた人達をガッカリさせたり悲しませたりしたことを、心から悔やみました。

忘れないでください。
あなたに注がれる水は、あなたが愛されている証です。

心のコップを上向きにして、受け止め、成長し、今度はあなた自身が、誰かの心に水を注ぐことのできる存在になることを願っています。

生徒指導主事



城中HEART宣言 HEART BALANCE ～自分も相手も尊重する～

12/4(月)に、城中HEART宣言の集会を行いました。人権週間を1つの機会とし、これまでに多様性理解学習・人権学習・道徳など、生徒一人一人がしっかりと人権意識を持つことを目的とした「城中HEART宣言」の取組を進めてきました。集会では、各クラスでまとめた人権宣言を全校で交流し、その後生徒会長から、今年度の「城中HEART宣言」として、全校生徒への力強いメッセージがありました。今年の宣言は「HEART BALANCE ～自分も相手も尊重する～」です。この宣言には、「自分の尊重」と「相手の尊重」の両方のバランスを保つことが大切である、という思いが込められています。全校の宣言集会の後には、各学年の学級委員会を中心としたキャンペーンがスタートし、日々の生活の中で意識を高めていく取組が進められました。取組期間だけでなく、今後の生活に活かしていきましょう。



1月の主な予定

- 9日(火) 始業式
- 10日(水) 発育測定
- 11日(木) 給食開始 P T A本部役員選挙告示
- 16日(火) P T A本部役員立候補×切
- 17日(水) P T A選挙管理委員会
- 18日(木) P T A本部役員選挙投票用紙配付 諸費振替日
- 19日(金) 英語検定
- 20日(土) 城久駅伝大会
- 23日(火) 1年 校外学習
- 24日(水) P T A本部役員選挙投票×切・開票 P T A選挙管理委員会
- 25日(木) 3年 学年末テスト①
- 26日(金) 3年 学年末テスト②
- 29日(月) 諸費再振替日

【平日部活動休養日】10日(水)・17日(水)・18日(木)・24日(水)・31日(水)
【冬期学校閉鎖期間】12/28(木)～1/4(木)

啐啄同時(そったくどうじ) ～保護者の皆さまへ～

本年も本校学校教育にご理解ご協力をいただきありがとうございました。また、先日はお忙しいところ三者面談にお越しいただきありがとうございました。

さて、上の言葉「啐啄同時」は、自立した心を育てていくうえで欠かせないものです。「啐(そつ)」とは、鳥が卵から孵るときに、ヒナが卵の殻の内側からこつこつと叩いて、孵る準備ができていることを知らせる音のこと。「啄(たく)」とは、親鳥が卵の殻の外側からつついて殻を破ってやること。だそうです。

ヒナが卵から孵ろうとしているのに親鳥のつつきが遅ければ、ヒナは窒息してしまい、親鳥のつつくのが早すぎれば、まだ準備ができていないヒナが生まれてしまいます。

早すぎず遅すぎず、まさにこのときというタイミングで、ヒナと親鳥の行いが一致するのが「啐啄同時」です。

思春期真っ只中の子ども達からは、必ず「啐」の音が響いてくると思います。小さな音なので聞こえにくいかもしれませんが。冬休み、良き親子の「啐啄同時」が起こることを願っております。

